

内分泌学検査

() は
保存温度

	項目コード	項目名	採取容器	必用量	検査方法	基準値	区分 実施科	報告 日数	備考	外注先
副 腎 皮 質 関 連	1179 4D040	コルチゾール 4D0401000023051	1 全血容器(茶)	血清 0.5(冷蔵)	CLIA法	午前8～10時 4.5～21.1 μg/dL	生化Ⅱ 121	3～5	随時尿(項目コード2520)	6
	1671 4D035	11-OHCS 4D0351000023282	1 全血容器(茶)	血清 2.1(冷蔵)	蛍光法 (De Moore曰 井変法)	午前8～10時 5.0～21.4 μg/dL	生化Ⅱ 60	4～10		3
	1539 4D090	DHEA-S デヒドロエピアンドロステロン 4D0900000023051	1 全血容器(茶)	血清 0.6(凍結)	CLEIA法	17P参照 ng/mL	生化Ⅱ 164	2～4		3
	1670 4Z010	血漿レニン活性 PRA 4Z0100000022023	6 EDTA2Na管	血漿 0.7(凍結)	EIA法	座位: 0.2～3.9 臥位: 0.2～2.3 立位: 0.2～4.1 ng/mL/hr	生化Ⅱ 100	3～5	早朝安静状態で採血 *1	6
	2308 4Z020	活性型レニン定量 ARC 4Z0200000022052	6 EDTA2Na管	血漿 0.5(凍結)	CLEIA法	2.21～39.49 pg/mL	生化Ⅱ 102	3～5	早朝15分以上臥位にて安静後採血 *1	6
	1688 4D115	アルドステロン PAC 4D1150000022052	6 EDTA2Na管	血漿 0.5(凍結)	CLEIA法	4.0～82.1 pg/mL	生化Ⅱ 122	3～5	早朝15分以上臥位にて安静後採血	6
	2290 4D120	アルドステロン/レニン比 PAC/PRA 4D1200000022919	6 EDTA2Na管	血漿 1.3(凍結)	計算法	「原発性アルドステロン症診療ガイドライン2021」 200未満(境界域: 100～200未満) かつ PAC60未満		3～5	レニン活性(項目コード1670)とアルドステロン(項目コード1688)の同時依頼が必要です	6
	2291 4D122	アルドステロン/活性レニン定量 PAC/ARC 4D1220000022919	6 EDTA2Na管	血漿 1.3(凍結)	計算法	40未満(境界域: 20～40未満) かつ PAC60未満		3～5	レニン定量(項目コード2308)とアルドステロン(1688)と同時依頼が必要です	6
	1844 E4016	カテコールアミン3分画 4E0160000022204	6 EDTA2Na管	血漿 1.1(凍結)	HPLC法	アドレナリン: 0.17以下 ノルアドレナリン: 0.15～0.57 ドーパミン: 0.03以下 ng/mL	生化Ⅱ 161	3～5	安静臥位状態で採血 尿カテコールアミン3分画 (項目コード1517)	6
	2668 4F041	(血中)遊離メタネフリン分画 4E0410000122021	6 EDTA2Na管	血漿 1.5(絶凍)	ELISA	褐色細胞腫のカットオフ メタネフリン 130.0以下 ノルメタネフリン 506.0以下 ng/mL	生化Ⅱ 585	3～5	*2	4
	1528 4E041	(尿)メタネフリン分画 4E0400000004204	5 尿スビッツ	蓄尿 5(冷蔵)	LC-MS/MS法	メタネフリン0.04～0.18 ノルメタネフリン0.10～0.28 ng/mL	生化Ⅱ 220	3～5	蓄尿の場合は蓄尿量を記入ください 蓄尿方法はお問合せ下さい 随時尿(項目コード2803) *2	3
	2535 4E060	VMA(随時尿) バニルマンデル酸 4E0600000004210	5 尿スビッツ	尿 3(冷蔵)	HPLC法	蓄尿1.50～4.80mg/day 随時尿2.10～5.00mg/g・Cre ng/mL	生化Ⅱ 90	3～5	蓄尿の場合は蓄尿量を記入ください 蓄尿方法はお問合せ下さい 蓄尿(項目コード1518)	3
	2536 4E055	HVA(随時尿) ホモバニリン酸 4E0550000004210	5 尿スビッツ	尿 3(冷蔵)		蓄尿2.40～6.00mg/day 随時尿2.20～5.80mg/g・Cre ng/mL	生化Ⅱ 69	3～5	蓄尿の場合は蓄尿量を記入ください 蓄尿方法はお問合せ下さい 蓄尿(項目コード1750)	3
	1187 4E070	5HIAA(尿) 5-ハイドロキシインドール酢酸 4E0700000004204	5 尿スビッツ	蓄尿 5(冷蔵)	LC-MS/MS法	1.0～6.0 mg/day	生化Ⅱ 95	3～5	蓄尿の場合は蓄尿量を記入ください 蓄尿方法はお問合せ下さい	3
	1751 4E065	セロトニン(血液) 4E0650000019204	69 EDTA加血液	EDTA加血液 2.1(凍結)	HPLC法	81.0～262.0 ng/mL		3～5	そのまま凍結	3

*1 レニン活性とレニン定量を併せて行った場合は、一方の所定点数を算定する

*2 遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画 褐色細胞腫の鑑別診断を行った場合に1回に限り算定する。本検査を実施するに当たっては関連学会が定める指針を遵守し褐色細胞腫を疑う医学的な理由を診療録に記録すること。メタネフリン・メタネフリン・ノルメタネフリン分画、ノルメタネフリン又は遊離メタネフリン・遊離メタネフリン分画のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。